



●安心の在宅療養を支援する 《多職種連携交流会》

在宅での困難事例にどう向き合うのか

～親の死を受け入れられない家族等への支援～



今年1月の「ふじみ野市訪問診療医射殺事件」は衝撃的でした。

あまりにも特殊なケースでしたが、近年は「8050」問題、家族が現状を受け入れられないケースも多く、院内外で関連職種が介入方法に悩み、ストレスを抱えている現状があります。専門的な視点からの捉え方を学びつつ、事例を基にディスカッションすることで困難ケースへの関わり方や、病院や地域の ACP の進め方など、支援の糸口を見つけられたらと思います。

日 時 ▶ 令和 4 年 8 月 6 日(土)14:30～17:00

場 所 ▶ 川崎市看護協会(川崎市ナースングセンター) 研修室
ハイブリッド型(ZOOM 配信を利用)対 象 ▶ 医師、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員、保健師等行政職員、
看護師(病棟・外来・訪問看護ステーション・診療所、福祉施設等)、医療機関職員
リハビリテーション職員、相談支援専門員(障害)等

定 員 ▶ 100 名 程度 (川崎市看護協会来場者:30 名 ZOOM 配信希望者:70 名)

内 容 ▶ I 講 演 : 「**純粹精神医学の思想 精神医学における疾患とは**」
講 師 : 聖マリアナ医科大学 神経精神科学
教授 古茶 大樹 先生

II オープンディスカッション

座 長 : 川崎市総合リハビリテーション推進センター 所長 竹島 正 先生

事例提供者 : りんこう訪問看護ステーション 所長 阿部弘子
川崎市南部基幹相談支援センター 相談支援専門員 大田大輔
川崎市立井田病院 地域医療部診療看護師 仁藤紀子

コメンター : 川崎市立看護大学 精神看護学 教授 廣川 聖子 先生

講 評 : 聖マリアナ医科大学 神経精神科学教授 古茶 大樹 先生

参加費 ▶ 無 料

申込方法 ▶ ・川崎市看護協会 HP の研修フォーム、または QR コードから
<https://www.kawa-kango.jp/nurse/training/>

- *お申し込み時、備考欄に「職種」と「来場」が「ZOOM」をご記入ください。
- *WEB 希望の方 : 8 月 3 日にパスコード、ミーティング ID を送信します。
- *来場希望の方 : 14 時より受付開始いたします。

研修番号は19

申込期間 ▶ 令和 4 年 6 月 13 日(月)～令和 4 年 7 月 29 日(金)

主 催 ▶ 公益社団法人川崎市看護協会「地域連携推進委員会」

連絡先 ▶ 川崎市中原区今井上町 1-34 和田ビル 3 階

TEL044-711-3995 FAX044-711-5103

担当 酒井



*ご来場の際は、電車・バスをご利用ください。(JR南武線「武蔵小杉駅」、東急東横線「武蔵小杉駅」下車徒歩 10 分)



会場案内図

